

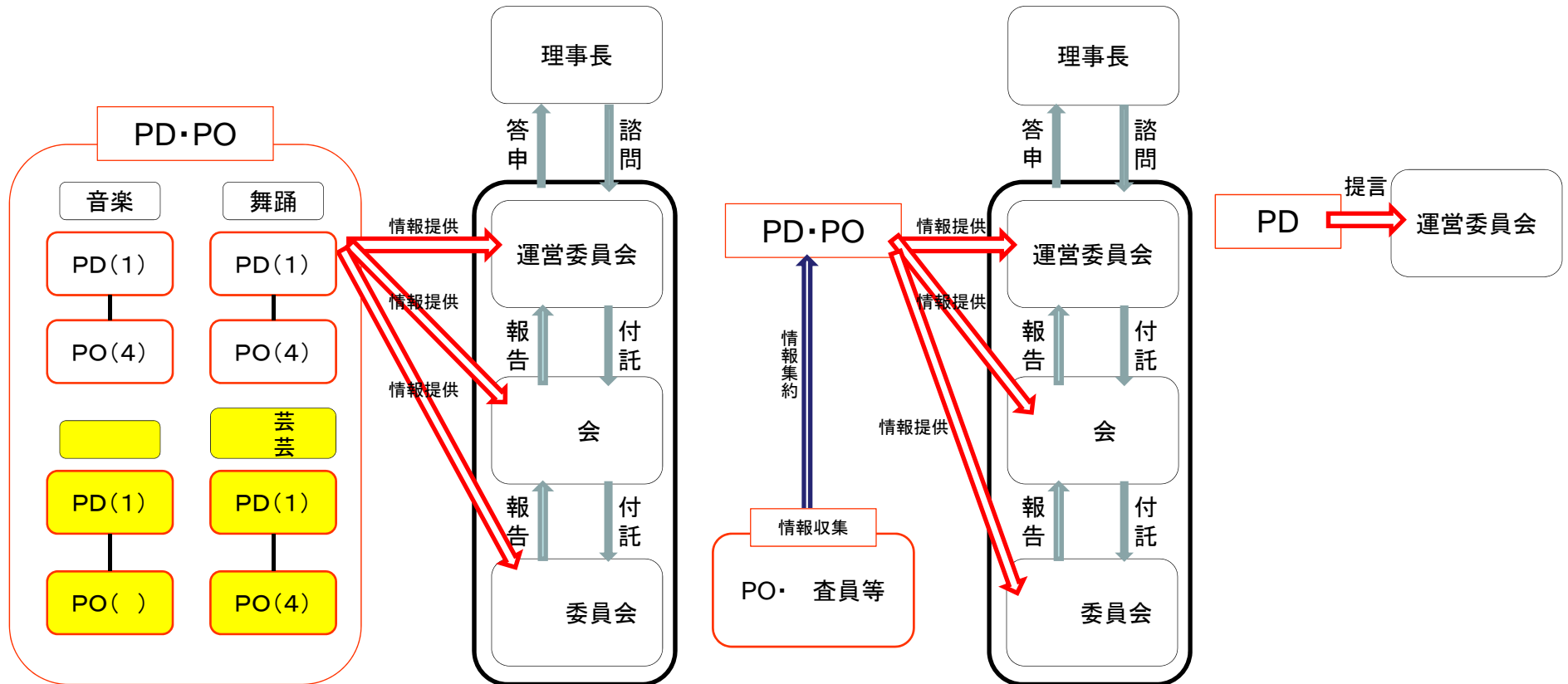
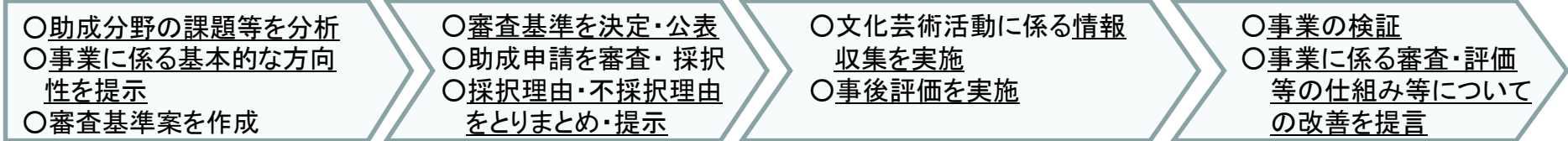


# 日本版アーツカウンシルの試行的導入

平成24年度要求額 86百万円  
(平成23年度予算額 52百万円)

参考資料3-3

- 文化芸術に対する助成事業をより有効に機能させるため、(独)日本芸術文化振興会に専門家(プログラムディレクター(PD)・プログラムオフィサー(PO))を配置し、事後評価や調査研究等の機能を大幅に強化するとともに、助成事業の成果や課題を調査分析し、助成事業の改善につなげる仕組みを平成23年度から試行している。  
(対象は、「トップレベルの舞台芸術創造事業」の2分野(音楽、舞踊))
- 平成24年度においては、対象分野を4分野(音楽、舞踊、演劇、伝統芸能・大衆芸能)とするとともに、POと調査員の体制を強化する。



※ の PD・POと運営委員会等との 係を示 の り 会の組 について 的に示 の ない